EN

DE

FR

JP

NL

TR

FURY5

Original Instructions

Written in UK English V1 Date Published: 18 / 09 / 2013

日本語

取扱説明書

目次

重要

このたびは、エボリューション万能切断機をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みください。使用上の注意事項、本機の性能、使用方法など十分にご理解のうえで、正しくご使用くださいますようお願いいたします。正常に動作しない場合、部品ご入用、その他取扱い上ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げの販売店または、直接当社までお問い合わせください。

WEB
www.evolutionpowertools.com/register

お客様相談センター
フリーコール 0120-05-1415

www.evolutionpowertools.com/jp/contact/

本製品は、ご購入日より1年間のメーカー保証が付いています。エボリューションパワーツールの迅速な保証サービスを確実にうけていただけるよう、お求めいただきました製品の保証登録を行ってください。オンライン登録およびお電話による登録については、製品に同梱されております A5版別紙リーフレットをご覧ください。このリーフレットにはQRコードが掲載されています。読み取り機能のついたカメラつきケータイで撮影すれば、簡単に登録ページにアクセスすることができます。

メーカー1年保証

製品の仕様および外観は、改良のためお断りなく変更することがあります。メーカー保証適用の条件および登録方法については、別紙リーフレットをご参照ください。

エボリューションパワーツールは、ご購入いただきました製品に工場製造上の欠陥または材質の欠陥が認められた場合は、ご購入日より1年間無償でその部品の交換または修理を行います。取扱説明書に従わない、不注意な操作や取扱いによる故障および損傷、ならびに必要なお手入れを怠ったことによって生じた故障および損傷は、保証の適用外とさせていただきます。

また、使用上の誤り、または当社指定サービス業者以外による修理や改造、部品交換に起因する故障は、保証の適用外とさせていただきます。電気部品については、それぞれの製造元が提供する保証の対象となります。エボリューションパワーツールに修理・交換のために当該の製品をお送りいただくときには、当社が集配を手配いたします。当社は、同等の機能を有する新品または使用可能な再生部品と交換する権利を有します。

チップソー、ダイヤモンドホイール、ドリル、チゼル、ヘラなど消耗品である交換部品やアクセサリーは、書面または口頭においても保証は適用されません。当社は、いかなる場合においても、当社製品の使用もしくは他の原因によって直接または間接的に生じる損失または損害を賠償する責任を負いません。当社は、当該の商品もしくは派生的な損害に関わる費用に対して一切責任を負いません。当社の役員、従業員

仕様	
仕様明細	
最大切り込み深さ（直角時）	73mm
最大切り込み深さ（傾斜45度時）	54mm
モーター消費電力（100V 50/60Hz）	1500W
無負荷速度	2500min^{-1}
万能切断チップソー寸法	
外径	255mm
穴径	25.4mm
歯数	24
最大回転数	2750min^{-1}
刃厚	2mm
質量	25kg
騒音および振動データ	
音圧　LPA	93 dB (A) K = 3 dB(A)
音響出力レベル　LWA	104.3 dB (A) K = 3 dB(A)
振動レベル	1.39 m/s^2 K = 1.5m/s^2

及び代理人はいずれも、適合性について口頭で意思表示を行う、もしくは前述の売買条件を放棄する権限を有せず、当社に拘束力を持たないものとします。

メーカー保証についてのご質問は、当社お客様相談センターまでお問合せください。

www.evolutionpowertools.com

(1.7)
振動

警告：振動工具を使用する作業者は、手腕を介して伝わる高レベルの振動に長時間曝され続けると、手指白指症状（レイノー現象）が出現する場合があります。症状としては、手指にしびれや冷感、感覚の鈍化がおこります。振動工具を長時間頻繁に使用する場合は、手指の症状に注意し、疑わしいときは、速やかに医師の診断を受けてください。

a. 実際に作業中に受ける振動レベルは、切断する材料の硬さや固定している状態、電動工具の整備状態や刃物の切れ味などにより変わります。用途や状況に応じて判断し、振動暴露の軽減をはかってください。

b. 作業現場における測定および判断は、BS EN ISO 5349-1:2001およびBS EN ISO 5349-2:2002に基づいています。

c. 以下に挙げることは、振動レベルの低減に役立ち、振動傷害予防に役立ちます。

取り扱い方

- 電動工具は注意深く手入れをしてください。安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 電動工具に無理な力をかけないでください。安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してく ださい。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

材料

- 切断する材料の素材の状態（表面の状態、硬さ、固定位置など）を考慮してください。

警告：実際に作業中に発生する振動レベルは、本機の使い方によって、仕様詳細に記載されている値とは異なります。実際の作業環境で予想される状況（振動の強度や作業連続時間など）に応じて、予防対策を講じてください。

(1.8)
表示・図記号

警告 銘板ラベルが読みにくくなったり剥がれている電動工具は使用しないでください。交換用ラベルが必要な場合は、当社お客様相談センターまでご連絡ください。

注記 取扱説明書または銘板ラベルには、一般的に下記の表示・図記号が使用されています。

表示・図記号	説明
V	電圧（ボルト）
A	電流（アンペア）
Hz	周波数（ヘルツ）
Min^{-1}	回転速度
~	交流電流
n_0	無負荷速度
	保護メガネを着用すること
	防音用保護具を着用すること
	触れないこと 手を近づけないこと
	防塵マスクを着用すること
CE	CE認証
	WEEE 廃棄物指令準拠
	使用前に取扱説明書を読むこと
	警告
	レーザー警告
	二重絶縁

用途

警告：本機は万能切断卓上マルノコです。エボリューション純正刃物（専用チップソー）をお使いください。専用ダイヤモンドホイール（別売）に刃を付け替えていただくと、タイル材・石材などの切断も行えます。

切断適合材料

木材（一般木材、MDF、コンパネ、合板、ハードボードなど）

アルミ

軟鋼 3mm厚まで（アングル、Cチャンネル、軽天材など）

注記：鉄丸釘やビスが打ち込まれている木材も、安全に切断できます。

禁止用途

警告：本機を、指定された用途以外に使用しないでください。本製品の改造や本説明書に記載されていない取扱いは絶対しないでください。

(1.13)

警告：この製品は、肉体的、感覚的、または精神的な能力が低下している方（お子様を含む）、あるいは安全の責任者により機器の使用に関して監督が行われない限り、経験や知識が不足している方による使用は意図されておりません。

安全上のご注意

(1.14)
電気的安全性

本機には、販売される国内での使用に適合するプラグと電源コードが使われています。電源コードやプラグの修理・交換は、お買い上げの販売店にご相談ください。

(1.15)
屋外で使用時のご注意

警告：電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。電動工具を湿気の多い場所に置かないでください。明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。湿った場所で電動工具を使用する場合は、定格感度電流 30 mA 以下の漏電遮断器 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCD を使用すると、感電の危険が減少します。

屋外でのご使用には、用途に適した延長コードをご使用ください。キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

(2.1) 電動工具全般
安全上のご注意

警告：火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってくだ さい。

ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って使用してください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

警告：ご使用の前に、必ず取扱説明書の全ての事項を読んでください。

安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

次に示す安全上の注意事項における「電動工具」という用語は、電源式（コード付き）電動工具または電池式（コードレス）電動工具を示します。

(2.2)
1. 一般安全規則
[作業場]
a. 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。散らかった暗い場所は事故を招く恐れがあります。
b. 爆発を誘発することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんのあるところでは、電動工具を使用しないでください。電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火させることがある火花を発生する場合があります。
c. 電動工具の使用中は、子どもおよび第三者を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなる場合があります。

(2.3)
2. 一般安全規則
[電気的安全性]
a. 電動工具の電源プラグは、コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造しないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用することで、感電のリスクは軽減されます。
b. パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと身体の接触をさけてください。身体が接地された場合は、感電のリスクが増大します。
c. 電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。

d. コードを乱暴に扱わないでください。電動工具を移動させたり、引っ張ったり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。コードは、熱、油、角のとがったところ、または動くものから離しておいてください。コードが損傷すると、感電のリスクが増大します。
e. 電動工具を屋外で使用するときは、屋外の使用に適した延長コードを使用してください。屋外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
f. 湿った場所で電動工具を使用する場合は、漏電遮断器 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が減少します。

(2.4)
3. 一般安全規則
[人的安全性]
a. 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているのかに注意し、常識を働かせてください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは、電動工具を使用しないでください。一瞬の不注意が重大な人身事故につながります。
b. 安全保護具を使用してください。常時、保護メガネを装着してください。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメットまたは耳栓などの安全保護具を使用することで、人身事故が低減されます。
c.不意な始動は避けてください。電源プラグを差し込む前に、スイッチがオフの位置にあることを確認してください。指をスイッチにかけて電動工具を運んだり、またはスイッチの位置がオンになっている電動工具のプラグを電源コンセントに差し込むと、事故を招くおそれがあります。
d. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチをはずしてください。電動工具の回転部分にレンチまたはキーをつけたままにしておくと、人身事故を招くおそれがあります。
e. 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場とバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
f. きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服や装飾品は身につけないでください。髪、服および手袋を回転部に近づけないでください。だぶだぶの服、装飾品または長髪は、回転部に巻き込まれる場合があります。
g. 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。

(2.5)
4. 一般安全規則
[電動工具の使用および手入れ]
a. 電動工具を無理に使用しないでください。用途に合った正しい電動工具を使用してください。より安全かつ快適に作業ができます。
b.スイッチで始動および停止操作のできない場合、その電動工具は使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険ですので、修理を依頼してください。
c. 調整を行う前、付属品を交換する前、または電動工具を保管する前には、電源プラグをコンセントからぬくか、電動工具からバッテリーをはずしてください。
このような予防的安全手段によって、電動

工具を不意に始動させるリスクが低減されます。

d. 使用しない電動工具は、子どもの手の届かないところに保管し、電動工具に不慣れな人や取扱説明書を読んでいない人には電動工具を使用させないでください。電動工具を扱いなれていない人に渡すと危険です。

e. 電動工具の保守・点検を行ってください。電動工具の動作に影響のある可動部分の芯ずれや癒着、部品の破損およびその他の状態を点検してください。異常がある場合は、使用する前に修理を受けてください。電動工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となります。

f. 刃物類は、鋭利かつ清潔に保ってください。刃物類を適切に手入れして切れ味をよくしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になります。

g. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具、刃物類などは、作業条件および実施する作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使用する電動工具に合うように使用してください。
意図された作業と異なることに電動工具を使用すると、危険を招く恐れがあります。

(2.6)
5.一般安全規則
[整備]
a. 電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が適切な交換部品だけを用いて行ってください。電動工具の安全性を維持することができます。

(2.7)
健康被害に関するご注意
警告：家屋の壁面などに使われている塗料に鉛が含まれている懸念がある場合は、自分で剥がそうとせずに、専門家に依頼してください。塗料の粉じんが手や衣服に付着した場合に、誤って鉛成分が口から体内に入る恐れがあります。たとえ少量であっても神経障害の原因となることがあります。小さな子どもや胎児は特に影響を受けやすいので十分注意が必要です。

(2.8)
警告：MDF（繊維板）からの粉じんは吸い込むと人体に有害です。作業時には、集じん機の使用およびフィルタ交換可能のフェイスマスク着用をおすすめします。

(3.5)
本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、スライド丸ノコとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

ノコ刃に関する安全性

警告：回転中のノコ刃は大変危険なものです。取扱いを誤ると重傷を負う恐れがあります。回転しているノコ刃に、絶対に手を近づけないでください。（手の位置は、常時15センチ以上ノコ刃から離しておくこと。）

切断後は、ノコ刃を取付けている切断ヘッド部が上がり、安全カバーが完全に閉まり、ノコ刃の回転が停止するまでは、絶対に加工中の切れ端を取り除こうとしないでください。

ノコ刃は、銘板に表示されている範囲内の、エボリューションパワーツール純正品をお使いください。

破損または変形しているノコ刃を使用しないでください。欠けた刃が飛んで作業者や近くにいる第三者がけがを負う恐れがあります。
高速鋼（HSS、ハイス）ノコ刃は使用しないでください。

刃口板が損傷または磨耗している場合は、交換してください。純正部品をご使用ください。

(3.6)
安全保護具

騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

飛散する切粉から目を守るために、作業時は必ず保護メガネを着用してください。

粉塵の多い場所（※石材・ブロック・レンガ・タイル等をダイヤモンドホイールで加工するときなど）では防塵マスクを併用してください。

ノコ刃や表面が粗い材料を取り扱う時には、手袋を着用してください。ノコ刃を運搬する場合は、収納ケースに入れて運んでください。切断作業中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。回転部に巻き込まれ、けがの原因となります。

(3.7)
安全な作業のために

切断する材料に適するノコ刃を選択してください。この説明書に記載されている用途以外の材料を切断しないでください。

移動・運搬する場合は、ヘッド部の位置を下限まで下げて固定ピンできちんと固定してください。本機を持ち上げる際は、ベース両側のくぼみに手をかけて持ち上げてください。絶対に安全カバーなどを持って無理に持ち上げないでください。

毎回使用前に、電源プラグをコンセントにつなぐ前に、安全カバーに損傷がないか、正常に円滑に作動するか確認してください。
作業台の上や床面が切れ端、切粉などで散らかっていないように心がけてください。

ノコ刃の最高回転数が本機の無負荷回転数を上回っていることを確認してください。指定以外のノコ刃を使用すると、本機の性能が十分にひきだせないだけでなく、事故やけがの原因になります。

レーザーマーカーが取付けられている機種では、改造したり、出力クラスの異なる部品に交換しないでください。部品の修理・交換はお買い求めの販売店または当社窓口までお問合せください。

ノコ刃の取り付け・取り外しは、この取扱説明書に記載されている手順に従って行ってください。

材料を切断した後は、ヘッド部を上げ、安全カバーが完全に閉じ、ノコ刃の動きが停止してから、加工した部材を取り外してください。

(3.8)
安全かつ正確に切断するために

切断する材料は、クランプで確実に固定して作業してください。

工具本体を傾斜のない平坦な場所に据え付けてください。常に、本体が安定した状態であること確認しながら作業してください。

工具本体をコンパネなどの板、作業台または専用スタンドに据え付けて使用することができます。詳細は取扱説明書の該当ページを参照してください。

長尺材または幅広材を切断するときは、材料が安定するように端部を補助ローラーなどで支えてください。

(2.8)
警告：作業中は、切断片などの異物から眼を守るために、必ず保護メガネまたはフェイスシールドを使用してください。

警告：損傷、部品が欠けているマルノコを使用しないでください。けがの恐れがあります。部品の修理・交換は、お買い求めの販売店または当社窓口までお問い合わせください。

(3.9)
安全上のご注意補足
マルノコを移動・運搬するとき

本機を運搬するとき
- 本機はコンパクトながら重量があります。持ち上げるときには腰に無理な負担がかからないように、必要に応じて補助を求めてください。
- できるだけ腰に負担をかけない姿勢で行うために、持ち上げるときにはマルノコに体に近づけ、ひざを曲げ、腰を十分に降ろして本機を抱え、膝を伸ばすことによって立ち上がるようにします。本機を持ち上げる際は、ベース両側のくぼみに手をかけて持ち上げてください。
- 絶対に、電源コード持ってマルノコを運搬しないでください。絶縁部が損傷したり、コード内部が断線し、火災、感電の原因になります。
- 運搬する場合は、不意に可動部が動くことを避けるために、スライド軸固定ノブ、ターンベース固定ノブ、傾斜角度調整レバーを締めておきます。ヘッド部を固定するためにハンドルを押し下げ、固定ピンを奥までしっかりとさし込んでください。

警告：安全カバーを取り外したり、ブレードガードに収納した状態で固定したりしないでください。移動・運搬するときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

《手順チェック》
- ヘッド部を下げて、固定ピンをさし込み固定します。
- ターンベース固定ノブをゆるめ、ターンベースを左右どちらかいっぱいまで回してください。
- ターンベース固定ノブを締めて、ターンベースを固定します。
- スライド軸固定ノブを締めます。
- 本体を持ち上げるときには、ベース両側のくぼみに手をかけてください。

運搬後は丈夫で水平なところに置き、安全カバーやその他の部品に異常がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

(4.1)
さあ、始めよう – 開梱

注意：部品の中には尖った形状のものがあります。開梱時にはけがをしないようにご注意ください。本製品は重量がありますので、移動や運搬、組み立ての際は補助を求めてください。

開梱後に部品数量を確認してください。付属品がすべてそろっていることを確認してください。

商品に破損や異常がないことを点検してください。万一不足している物や損傷しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

梱包箱は捨てずに、 メーカー保証有効期間中は搬送時に備えて保管しておいてください。リサイクルを促進するため、開梱後の梱包・包装資材は分別処理してください。窒息の危険をさけるため、ビニール袋は子供の手の届かないところに置いてください。

(4.2)
標準付属品

エクステンションテーブル（拡張テーブル） ×2
エクステンションテーブル用サポート支柱 ×4
ノコ刃交換用用具 ×2
マイターゲージ（角度調節定規付） ×1
縦型固定クランプ ×1
調整式リップフェンス（拡大鏡付） ×1
後方安定補助脚 ×2
プッシュスティック ×1
フェンスレール ×2
テーブルソー・スタンド（要組立） ×1
六角レンチ ×1
フェンス連結固定金具 ×1

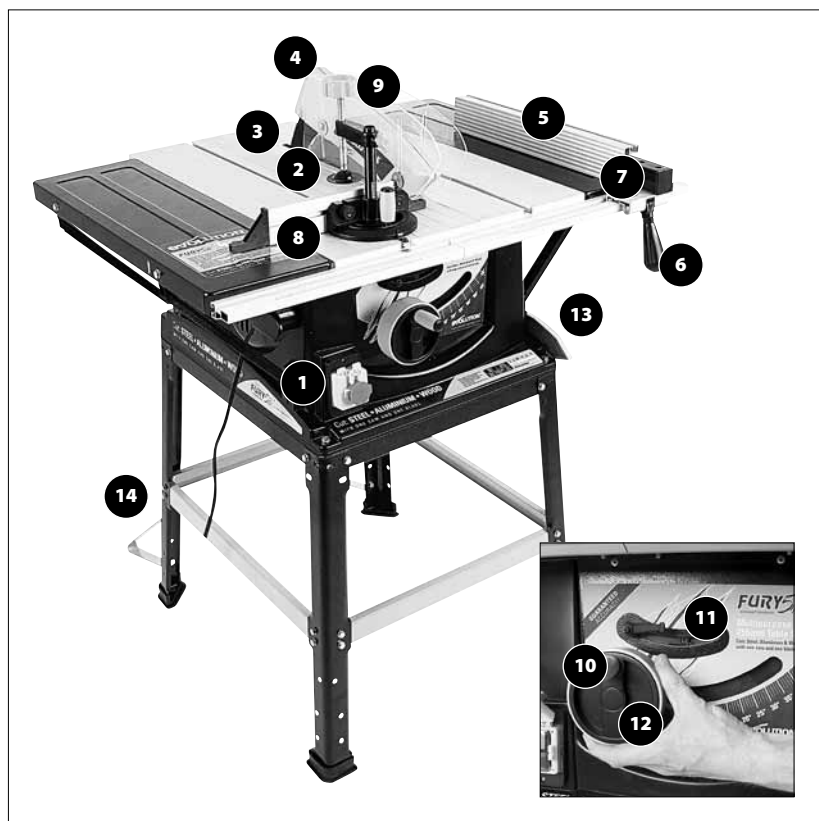
(4.3)
別売部品・アクセサリーのご紹介

別売部品・アクセサリー	部品番号
木工用チップソー ダイヤモンドホイール	（各ノコ刃のタイプによる純正刃物）

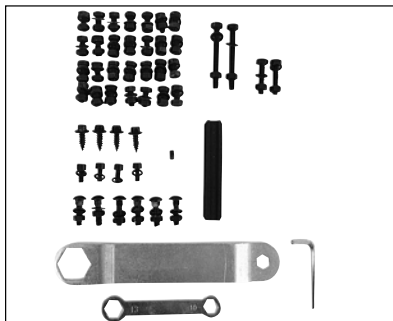
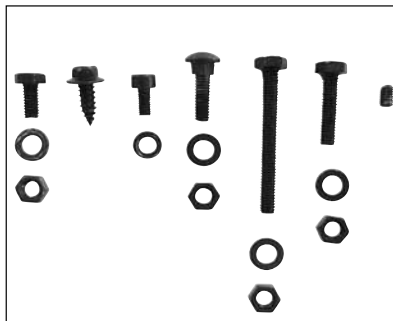
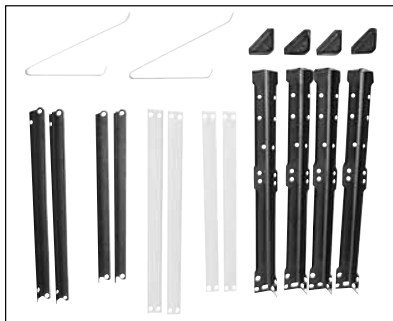
別売部品・アクセサリーの詳細につきましては、お買い上げの販売店もしくは当社窓口までお問い合わせください。 (7.1) 組立と準備

警告：調整作業は、必ず電源プラグをコン

(7.1) 組立と準備
警告：調整作業は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

各部の名称

1. ON/OFF スイッチ
2. ノコ刃 (チップソー)
3. 割刃 (ライビングナイフ)
4. 保護カバー
5. リップフェンス (平行定規)
6. リップフェンス固定レバー
7. リップフェンス拡大鏡
8 スライド式マイターフェンス (角度定規付)
9 縦型固定クランプ
10 ノコ刃高さ調整ハンドル
11 ノコ刃角度調整ロック解除レバー
12. ノコ刃角度調整用ホイール
13 プッシュスティック (押し棒)
14 後方補強ブレース

同梱部品・工具　（本機をダンボールから出しますと写真のような部品、工具から構成されていますので確認してください。）

1. 組立用金具各セット
2. 脚部 各部品
3. 拡張テーブル
4. その他ーマイターゲージ（角度定規）、リップフェンス（平行定規）、保護カバー、フェンスレール

1a. ネジ、連結金具、ノコ刃交換用用具

1b. 各ネジ一覧

2. 脚部 各部品

3. 拡張テーブル

4. その他ーマイターゲージ（角度定規）、リップフェンス（平行定規）、保護カバー、フェンスレール

組み立て方法

《本機の組立ては、次の手順で行ってください。》

1. テーブル脚部の組み立て方

テーブル脚部品として、脚部4本、ラバーフット4個、横材8本、後部補強ブレース2個が入っています。(図1参照) 黒色の横材は脚部に、緑色の横材は脚の中間部に取り付けられます。横材はそれぞれ2本組で、黒・緑(長)各2本、黒・緑(短)が各2本あります。

組立て始める前に、部品を確認してください。

1. 各脚にラバーフットを取り付けます。脚下部にある金属製の2つのツメをラバーフット底にある25mm溝穴にそれぞれ差し込み、ツメを折り曲げて固定してください。(図2参照)
2. ラバーフットを取り付けた脚2本と、黒色(長)横材1本、緑色(長)横材1本を用意します。(図3a参照)黒色の横材に付いている位置決め突起が、脚上部の長方形の溝にかみ合うようにあわせて、6mm六角ボルトで取り付けてください(図3b参照)。緑色の横材は脚中間部に6mm六角ボルトで取り付けてください(図3c参照)。この横材は、脚の斜角に合うように先端部が傾斜しています。傾きが合うように組み合わせてください。まだこの段階では、ボルトを完全に締付けないでおきます。ここで組み立てた部分は、脚部を構成する一方の側面です。ちょうど頭が平らなアルファベットのAの字のような形です。(図3d参照)

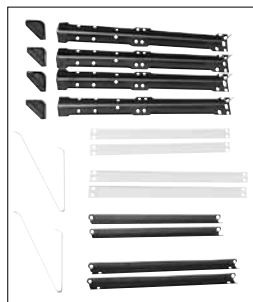



図1
脚部を構成する各部品

図2
ラバーフット取り付け図

図3a
足組部品図

図3b
接続部拡大 1

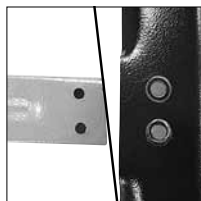



図3c
接続部拡大 2

図3d
脚部と横材を組み合わせた側面部

図4a
脚部くみ上げ過程

図4b

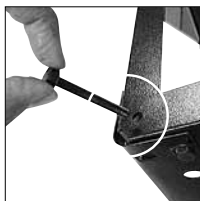



図4c
ボルトを通しての足組作業

図4d

図5
補強ブレース取り付け

図6
組みあげた脚部外観

3. もう一組を同様に組み立てます。
4. 組み立てた二組をつなぎ合わせるように、残りの横材(黒色2本、緑色2本)をそれぞれ取り付けると、長方形のテーブル脚部が組みあがります。(図4a,4b参照)
黒色の横材を取り付けるとき、上部の取り付け穴がずれないように、きちんと合わせてください。本体取付け用ボルトを差し込んで固定し調整すると、穴位置がうまく合います。(前面 6mm径×30mm、背面 6mm径×55mm)(図4c,4d参照)
5. 補強ブレースを脚部の背面側にそれぞれ取り付けてください。この部品を付けることで本体が安定し、作業者の安全性が高まります。(図5参照)

脚部がうまく組みあがったら、ナットとボルトを完全に締め付けてください。穴位置を合わせるために差し込んでいた本体取付け用ボルトは一旦外してください。

2. 脚部に本体を取り付けます。

(注)本体は重量があるため、取り付ける際に本体を持ち上げるときには、2人以上で作業することをお勧めします。
付属しているボルト4本、ワッシャー、ナットを使用して、本体を脚部に取り付けます。本体が正しい向きであることを確認してください。四方の本体取付け用穴にボルトを差し込み、本体と脚部を固定するためにしっかりと締め付けてください。（前面 6mm径×30mm、背面 6mm径×55mm）（図7参照）

図7
脚部に本体を取り付ける。前面と背面の取り付け位置。

3. エクステンションテーブル　（拡張テーブル）

(注)スチール製拡張テーブルは、左右同じ形状です。1つ穴がある面がテーブルソー前面にくるようにしてください。（図8参照）

1. 6mm六角ボルト、ワッシャー、ナットを使って、テーブルサポートを拡張テーブルに取り付けてください。背面側テーブルサポートは背面側にある穴に合わせてください。両方のテーブルサポートがそれぞれの穴の中央部にくるように合わせて締め付けてください。（図9参照）

図8
エクステンションテーブル

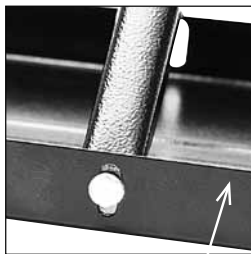



図9
テーブルサポート取り付け

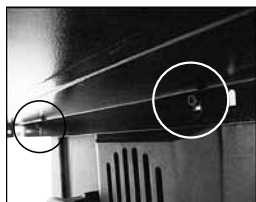



図10
エクステンションテーブル本体に取り付け

図11
拡張テーブル接続面

図12
テーブルサポートをタレット(本体側部の溝)に取り付け

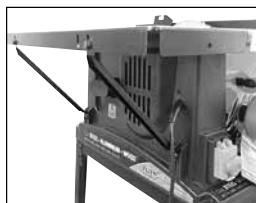



図13
エクステンションテーブル取り付け完成図

2. テーブル左右両方の側面にキャプティブナットが組み込まれています。拡張テーブルを(1つ穴がある面がテーブルソー前面にくる向きに)5mm径穴付ネジとワッシャーを使って、テーブル面に取り付けてください。(図10参照)
3. 本体テーブルと拡張テーブルの接続部が水平で同じ高さになるようにしてください。(図11参照)5mm径穴付ネジをしっかりと締め付けてください。
4. 直線定規などを横に渡して、本体テーブルと拡張テーブルの面が揃っていることを確認しながら、テーブルサポートを本体側面に位置合わせします。六角セルフタッピングネジを使って、タレット(本体側面溝)にねじ込んで締め付けます。タレット(本体側部の溝)にしっかりと固定してください。(図12参照)
5. 拡張テーブルの位置を微調整しながら、各ネジをしっかり締め付けて固定してください。(図13参照)

4. リップフェンスの組立て方

リップフェンスのガイドには、調整可能なアルミ製プレートがついています。通常の使用では、このアルミ製プレートは、リップフェンスのスチール製キャリア（角棒主軸）に垂直方向に、キャリアの左手側に取り付けて使用します。（図14参照）

1. 2本の6mm径×60mmドーム ヘッド・コーチボルトをキャリアの左側から穴に通して差し込んでください。（図15参照）
2. ワッシャーと緑のつまみネジ部品をキャリアの右側に来るように付けてください。
3. アルミ製プレートの溝にボルト頭を入れて、スライドさせて差し込んでください。
4. つまみネジ2本を締め付けてください。

(注)リップフェンス・クランプの拡大鏡が隠れないように取り付けてください。

5. フェンスレール

フェンスレールは、2つの部品を連結して組み立てます。長い方のレールを右側にしてフェンス連結固定金具を、長方形の凹みに差し込み、フェンスレールに渡るようにします（図16参照）。金具はフェンスレールの両側に均等（連結部の中央）に位置するようにしてください。（図17参照） 6mm径×15mmドームヘッド・コーチボルト6本が、フェンスレール裏側の溝を通るように、差し込んでください。

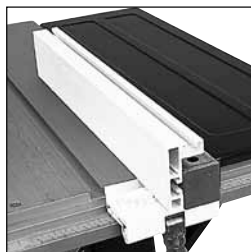



図14
リップフェンス

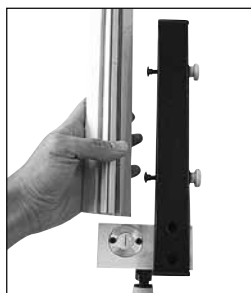



図15
リップフェンス組立て

図16
フェンスレールを金具で連結する

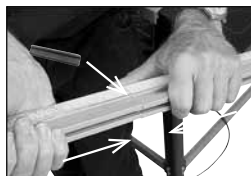



図17
フェンスレールを金具で連結する

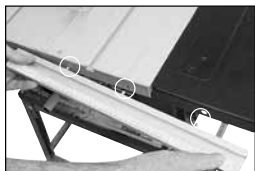



図18
フェンスレールを調整する

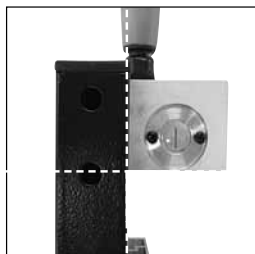



図19
リップフェンス調整

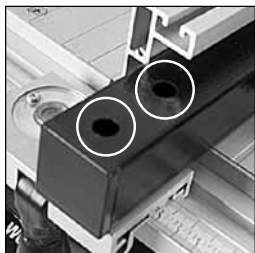



図20
リップフェンス 穴位置

1. フェンスレールを本体前面に取り付けます。
2. ボルト6本をぞれぞれの穴の位置に合わせてください。(左右拡張テーブルに各1箇所、アルミ製中央テーブルに4箇所あります。)(図18参照)
3. ワッシャーと6mm径ナットを使って、フェンスレールを本体に固定してください。締め付けは工具をもちいず手締めしてください(仮止め状態)。

リップフェンス・フェンスレール調整のしかた

(注)以下の作業は、電気工具を主電源に接続していない状態で行ってください。

リップフェンスは、正確に数値を読み取るために、正しい位置に設置する必要があります。
フェンスレールの調整をする前にリップフェンスの調整を行ってください。

6. リップフェンスの位置を点検・調整する

フェンスレール(仮止め状態)とリップフェンスを本体に取り付けたら、リップフェンスがノコ刃に平行であることを確認します。(図19参照)

1. ノコ刃を一番上げた状態にしてください。
2. ノコ刃に直角尺などの工具をあててください。
3. リップフェンスを直角尺の位置まで近づけ、平行であることを確認してください。
4. 調整が必要な場合には、スチール製キャリアの穴から、穴付ネジを締めなおして調整します。(図20参照)
5. 六角レンチを使ってネジを緩めて、フェンスが平行になるように調整してください。
6. 調整が完了したら、ネジをしっかりと締めなおしてください。
7. ノコ刃を下げてください。

7.フェンスレールの調整・固定

本体にフェンスレールを取り付けます。(図21参照)

1. リップフェンスの位置を、フェンスレール上でノコ刃の右手側まで動かしてください。
2. ノコ刃を上げてください。(19P操作方法2を参照)
3. リップフェンスを、上げたノコ刃に触れる位置までフェンスレールに沿ってスライドさせてください。(図22参照)
4. リップフェンス拡大鏡をのぞきながら、目盛りの「0」位置が拡大鏡の基準線に(図23参照)一致するまで、フェンスレールを左右にゆっくりと動かしてください。
5. 調整が済んだら、フェンスレールの6本のナットをしっかりと締め付けてください。
6. ノコ刃を下げてください。

(注)リップフェンスは、フェンスレールに差し込まれている構造なので、レールに沿って電動工具左右両側の好みの位置で、ロックレバーを押し下げて固定することができます。

8. スライド式マイターゲージ

(注)マイターゲージは、本体テーブル面の逆T字型スロットにはめ込み、スライドさせて使用します。(図24参照)

プラスチック製の分度器部分に、調整式アルミ製フェイスプレートが、6mm径ドームヘッドネジとつまみネジで装着されています。

1.ロックハンドル部分を反時計回りに回してロックを解除し、マイターゲージ角度を調整します。
2.分度器の針に目盛りを合わせて、角度を設定します。
3.角度を設定したら、垂直ハンドルをしっかりと締め固定してください。

(注)縦型固定クランプは必要な場合のみ装着することをお勧めします。(薄いシート状の材料や金属製薄肉管を切断するときなど)取り外した場合には、必要時に備えてきちんと保管しておいてください。

図21
本体にフェンスレールを取り付ける

図22
フェンスレール調整のためのリップフェンスと刃の接触図

図23
拡大鏡、目盛りの「0」位置

図24
マイターゲージ(縦型固定クランプを装着していない状態)

図25a
マイターゲージ(縦型固定クランプを装着した状態)

図25b
マイターゲージの軸受けに、固定ネジ差し込み

図26
保護カバーを装着した状態

縦型固定クランプを取り付けるときには、軸部分をマイターゲージの軸受けに差し込み、固定ネジ(3mm×7mmネジ頭無)を締めてください。(図25a 図25b参照) 固定ネジを締めるときや緩めるときには、マイターゲージのフェイスプレートを取り外してから行ってください。

9. 保護カバー

割刃には、必ず保護カバーを装着してください。保護カバー上部に沿って入っている溝は、ノコ刃の切断ラインを示しています。さらに、保護カバーに描かれているグラフィックが、ノコ刃の切断ラインを見極めるガイドとして機能します。

(注)保護カバーを取り付けるときには、必ずコンセントを抜き、スイッチを押しても、モーターが回転しないことを確認してから行って下さい。

割刃(ライビングナイフ:各部の名称③参照)
割刃は重要な部品です。工場出荷時に適正に調整されています。割刃は、切断中に加工材がノコ刃に挟み込まれるのを防止します。割刃を定期的に点検してください。磨耗している場合は交換してください。

1. 割刃(ライビングナイフ)を完全に出すには、ノコ刃を一番上まで上げてください。
2. 割刃の穴に保護カバーの位置決めピンを差し込み、片側をワッシャーと蝶型ナットを使って留めてください。保護カバーは、上下に自由に動く可動式ですので、蝶型ナットを締めすぎないでください。(図26参照)
3. ノコ刃の頂部と側面が完全に覆われた状態で、保護カバーが円滑に動くことを確認してください。
4. ノコ刃を少し下げた状態でも、保護カバーの動きに問題がないことを確認してください。
5. ノコ刃の高さにかかわらず保護カバーが円滑に動作することが確認できたら、ノコ刃を下限位置まで下げたときに、保護カバーと側面カバー(半透明のサイドガード)がテーブル面に接触していることを確かめてください。(図27a参照)

(注)
傾斜切断、角度切断、複合角度切断をするときの保護カバー
傾斜切断、角度切断、複合角度切断をするときには、左側もしくは両側の側面カバーを取り外すことが必要になります。(図27b参照)

プラスドライバーで緩めて側面カバーが取り付けられているネジとワッシャーを外してください。
取り外した側面カバー、ネジ、ワッシャーは紛失することがないように保管しておいてください。

保護カバーは、位置決めピンを割刃にネジで留めて、確実に取り付けて使用してください。保護カバーの位置は、刃先ができるだけむき出しにならないようノコ刃を覆い、切断する材料が下をちょうど通るのが適当です。傾斜切断、角度切断、複合角度切断を終えたら、保護カバーを元の状態に取り付けなおしてください。保護カバーが円滑に動くことを再度確認してください。

図27a
ノコ刃は垂直位置で、側面カバー(半透明のサイドガード)がテーブルに接触している状態

図27b
ノコ刃を傾斜させ、側面カバーを取り外した状態

操作方法

制御・調節

1. ON/OFF安全スイッチ

警告:スイッチを入れる前に、保護カバーが正しく取り付けられ、円滑に動作することを確認してください。
赤い安全ボタン脇のつまみを押してスイッチカバーをあけると、ON/OFFボタンがあります。本機を始動させるにはONボタンを押してください。停止させるにはOFFボタンを押してください。(図28参照)

図28
スイッチ (写真は日本仕様と異なります)

図29
ノコ刃昇降ハンドル

図30a
ノコ刃傾斜ロックレバー

図30b
ノコ刃角度調整ホイール

図31
リップフェンスガイド

(注)本機を始動する前に、必ず安全上の指示事項を全て確認してください。

2. ノコ刃の高さを変える

(注)ノコ刃の高さを調節するときは、必ず本機の電源が入っていないこと、ノコ刃が停止していることを確認してから作業してください。
昇降用ハンドル(ノコ刃高さ調整ハンドル)を回して、ノコ刃の高さを変えます。ノコ刃を下げるには、ハンドルを時計回りに回してください。ノコ刃を上げるには、ハンドルを反時計回りに回してください。(図29参照)

3. ノコ刃を傾斜させる

ノコ刃は、左45度まで傾斜させることができます。ノコ刃を傾斜させるには、傾斜ロックレバーを解除し、必要な傾斜角度になるまで角度調整用ホイールを回転させます。
傾斜角度が決まったら、傾斜ロックレバーを締め付けてしっかりと固定してください。(図30a・図30b参照)

4. リップフェンスガイド

リップフェンスはノコ刃左右のどちら側にも置くことができます。ロックレバーで位置を固定して使用します。レバーを上げるとロックが解除され、レバーを下げるとロックされます。

(注)リップフェンスガイドには、フェンスレール上の目盛りを読み取るための拡大鏡が付いています。

リップフェンスの前後位置を調整することができます。つまみネジ(2本)を緩め、アルミ製部材の溝に沿って前後にスライドさせて好みの位置に合わせます。つまみネジを締めて固定させてください。(図31参照)

(注)リップフェンスをノコ刃の左手側で使用する場合には、アルミ製部材がキャリア(スチール箱型部分黒色)の右手側にくるように組みなおします。

つまみネジを緩め、アルミ製部材を抜き取り、ボルトとワッシャーを一旦取り外します。ボルトを反対面から差し込み、ワッシャーとつまみネジで固定します。スチール箱型部分の右手側に付け直します。(図32参照) 上述の手順で位置を調整して使用してください。

右手側で使用する場合には、元の状態に組みなおしてください。

図32
ノコ刃左手側に設置したリップフェンス

5. マイターゲージ

マイターゲージは、テーブルの左右どちら側でも使用することができます。テーブル面の逆T字型スロットにはめ込み、スライドさせて使用します。

垂直ハンドルを反時計回りに回すと、マイターゲージのロックが解除しますので、角度を調整してください。好みの角度に合わせたら、ハンドルを時計回りに回してマイターゲージを固定します。(図33参照)

(注)マイターゲージのアルミ製フェイスプレートが、ノコ刃に接触しない程度に近くにくるように調整します。調整するには、つまみナットを緩め、フェイスプレートを必要な角度までスライドさせてください。つまみナットをしっかりと締めてください。

図33
マイターゲージ

図34
マイターゲージ（縦型固定クランプを装着した状態）

図35
集塵機を粉塵排出口に取り付け

図36
横切り

6. 縦型固定クランプ

薄いシート状の材料や薄肉箱型の材料（鋼鉄は3mm厚まで）を切断する場合には、縦型固定クランプを使うことができます。（図35参照） 調整用ハンドルとノブを使って適切な位置に装着します。

(注)縦型固定クランプのヘッド部分が、切断する材料を触れるか触れない程度に調整します。縦型固定クランプで切断する材料を軽く挟んで押さえてから、ヘッド部分を4分の1から2分の1程度回して戻すと、うまく調整できます。

テーブルソー基本操作方法

(注)必ずリップフェンスやマイターゲージを使って、材料を固定させて切断作業を行ってください。フリーハンドでは絶対に行わないでください。ノコ刃が噛み込んだり、キックバックが起こる危険性を軽減するために、常にガイドやフェンスを正しく使ってください。ノコ刃の高さは、切断する材料からノコ刃が約3mm程度突き出している状態を推奨します。高さの調整は、前述の手順（操作方法2.参照）に従って行ってください。本機は、相欠継ぎの溝加工には適していません。必要に応じて、吸引掃除機や集塵機を、本機背面の粉塵排出口に接続することができます。（図35参照）

(注)傾斜切断、角度切断、複合（角度＋傾斜）切断に合わせて、それぞれ保護カバーを調整してください。(17P組立方法9参照)

1. 横切り

マイターゲージを0度（直角）にセットし、垂直ハンドルで締め付けて固定します。T字型スロットに沿ってスライドさせて位置を決めたら、前述の手順に従ってフェイスプレートを調整してください。フェイスプレート面に切断する材料をあてます。スイッチを入れ、ノコ刃の回転が安定してから切断を開始します。（図36参照）
注意：傾斜切断、角度切断、複合（角度＋傾斜）切断に合わせて、それぞれ保護カバーを調整してください。

2. 角度横切り
角度横切りとは、直角以外の角度切りができる切断方法です。マイターゲージで角度を設定し、固定してから、上述の手順に従って横切りをします。

3. 傾斜横切り
傾斜横切りは、横切りと手順は同様ですが、ノコ刃を傾斜させて切断する方法です。上述のようにノコ刃を好みの角度に傾斜させたら、しっかりと固定されていることを確認してください。マイターゲージを0度（直角）に設定し、フェイスプレートがノコ刃に接触しない位置に調整してください。マイターゲージに切断する材料をあてて切断します。（図37参照）

図37
傾斜横切り

4. 複合角度切断
複合角度切断とは、角度切断と傾斜切断を合わせた切断方法です。
マイターゲージとノコ刃傾斜を好みの角度に調整します。それぞれしっかりと固定してください。
マイターゲージが材料を送るときにノコ刃に接触しない位置に調整されていることを確認してください。必要な場合は、マイターゲージのフェイスプレートを調整してください。（図38参照）
マイターゲージに切断する材料をあてて切断します。

図38
複合角度切断

5. 連続切断
連続切断とは、切断する材料を一枚ごとに墨付けせずに、同じ寸法のものを複数切断する方法です。

(注)連続切断（横切り）を行う場合には、マイターゲージはノコ刃左手側、リップフェンスはノコ刃の右手側に設置して使用することを推奨します。
定寸の横切りのときに、リップフェンスを利用して長さを決めることもできます。（図39参照）

図39
連続切断

6. 縦切り
縦切りとは、加工材を縦方向に切断する方法です。（図40参照）

縦切りは、必ずリップフェンスを使って行ってください。通常は、リップフェンスを右手側に設置します。

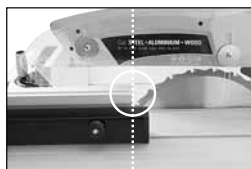
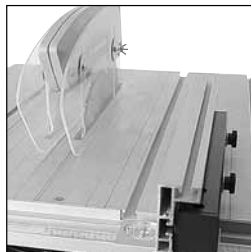



図40
縦切り

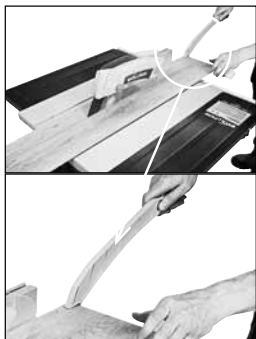



図41
プッシュスティック使用例

図42
傾斜縦切り

マイターゲージは縦切りでは必要ありませんので、必要時に備えてきちんと保管しておいてください。

マイターゲージとリップフェンスを基準にして切断していきます。左手で加工材をマイターゲージに押し当ててください。

加工材をノコ刃へとゆっくりと送り出して切断します。ノコ刃右手側で、加工材を右手で補助します。必要な場合はプッシュスティック（押し棒）を使用してください。

(注)リップフェンスがノコ刃に対して平行に調整され、しっかり固定されていることを確認してから、切断作業を行ってください。
割刃がノコ刃に揃っていることを確認してください。

小さい部分を切断する場合には、プッシュスティックを使い、指をノコ刃に近づけすぎることがないように安全に作業してください。300mm以下の加工材には、必ずプッシュスティックを使用してください。（図41参照）

長尺・幅広材を加工するときには、材料を安定した状態にするために、バイス（固定器具）などを使用してください。

加工材をリップフェンスに沿わせて、一定の速度で切断されるように、加工材を正しくコントロールして送り出してください。必要に応じてプッシュスティックを使用してください。

切断幅が300mm以上の場合には、十分注意しながら、両手で加工材を保持しながら送材します。左手はノコ刃左手側に、右手はノコ刃右手側のリップフェンス近くに置きます。刃の進行方向には絶対に指を置いてはいけません。

7. 傾斜切断

傾斜切断する加工材の幅が150mm以下の場合には、リップフェ
ンスはノコ刃右手側でのみ使用してください。（図42参照）

保守・点検

(注)点検・手入れの際は、必ず本体のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ノコ刃(チップソー)の交換

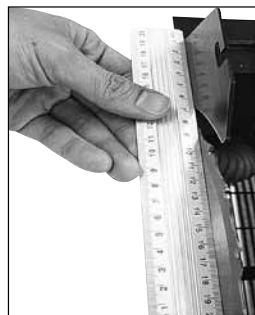
(注)ノコ刃を交換するときには、保護手袋を着用することを推奨します。

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 保護カバーを取り外します。(組立方法7参照)
3. テーブルのアクセス板両端にある皿ネジを取り外して、アクセス板を外します。
取り外したアクセス板と皿ネジは、紛失しないようにきちんと保管しておいてください。(図43参照)
4. ノコ刃を上限位置まで上げます。
5. 付属している2種類のノコ刃交換用ツールを使用します。一方はモーター軸を押さえるためのもので、もう一方は、軸ナットを緩めるためのものです。ネジはモーター軸をしっかり右手で固定し、左手で軸ナットを手前方向(割刃の方向と逆)に回すと外れます。(図44参照)
※チップソーを外す際はノコ刃でけがをしないよう十分に気負付けてください。
6. ナット、外フランジ、ノコ刃を取り外します。
7. 新しいノコ刃を取り付けます。ノコ刃の向きは前方(チップソーの印刷がモーター側)に向けて取り付けてください。ノコ刃に表示されている矢印を、モーター回転方向に合わせてください。
8. 外フランジとナットを戻し、付属スパナを使ってしっかりと締め付けます。両側のフランジがノコ刃に接触していることを確認してください。
9. アクセス板を戻し、ネジで留めて固定します。ネジはしっかりと締めてください。
10. 保護カバーを戻します。

清掃

ご使用後は毎回、清掃してください。本機についた切粉など吸引掃除機を使ってすべて取り除いてください。吸引掃除機を本体背面の粉塵排出口に接続することもできます。これで、本機内部の切粉を取り除くことができます。

図43
アクセス板を外している様子

図44
付属ツールを使ってノコ刃を取り外している様子

プラスチック部分を清掃する際に、シンナーなど有機溶剤は絶対に使用しないでください。（本体をいためます。）水で浸した柔らかい布でふき取ってください。

割刃（ライビングナイフ）の交換

1. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 保護カバーを取り外します。（組立方法7参照）
3. テーブルのアクセス板両端にある皿ネジを取り外して、アクセス板を外します。
取り外したアクセス板と皿ネジは、紛失しないようにきちんと保管しておいてください。
4. ノコ刃を上限位置まで上げます。
5. 割刃を固定しているナット（図45参照）を緩めてください。ナット・ワッシャー・割刃留めプレート・割刃の順に取り外してください。
6. 新しい割刃を取り付け、割刃留めプレート・ワッシャー・ナットの順でしっかりと締め付けてください。
7. 割刃がチップソーに対して真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。（図46参照）
8. アクセス板を戻し、ネジで留めて固定します。ネジはしっかりと締めてください。
9. 保護カバーを戻します。

(注)割刃を交換する場合は、指定のエボリューション純正品をお使いください。純正品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となります。ご不明な場合は、ヘルプラインまでお問い合わせください。

図45
割刃を固定しているナット

図46
定規などあて確認

プッシュスティック
本機には、プラスチック製プッシュスティックが付属しています。本体の右側に専用の収納場所が設けられています。（図47参照）プッシュスティックは、使用しないときにはここに収納してください。

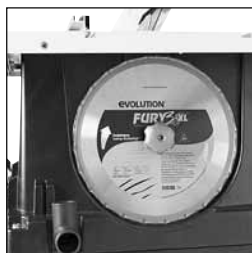
(注)プッシュスティックが破損した場合には、新しいものと交換してください。プッシュスティックを自作する場合には、本機に付属しているプッシュスティックと同じ形状に作ることを推奨します。交換用プッシュスティックは、当社営業所へご注文いただけます。

図47
プッシュスティック収納場所

ノコ刃収納場所
ノコ刃収納場所は、本体背面に設けられています。（図48参照）中央部のハンドナットを外し、交換用ノコ刃（チップソー）を、径25.4mmの金属製フランジに付けます。中央のハンドナットでノコ刃を固定してください。

図48
ノコ刃収納場所

地球環境への配慮

電気機器製品を廃棄する際は、家庭ごみとして捨てないでください。リサイクル処理施設でリサイクルしてください。リサイクルについては、各自治体又は販売店にお問い合わせください。

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい
255mm万能切断テーブルソー
お買い上げ日
平成　　年　　月　　日
保証期間
1年
お客様記入欄*

ご住所	
ご芳名	
電話	
販売店	

（注）*印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認下さい。
1. 保証期間内でも次のような場合には「有料修理」となります。
   1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   2) お買上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
   3) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   4) 車輌、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障および損傷。
   5) 本書の提示がない場合。
   6) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼になれない場合には、当社までご相談ください。
3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存しておいてください。
4. 本書は日本国内において有効です。

EVOLUTION®

www.evolutionpowertools.com

UK
Evolution Power Tools Ltd
Venture One
Longacre Close
Holbrook Industrial Estate
Sheffield
S20 3FR

+44 (0)114 251 1022

US
Evolution Power Tools LLC
8363 Research Drive
Davenport
Iowa
52806

866-EVO-TOOL

JP
エボリューション
パワーツール株式会社
〒544-0031
大阪府大阪市生野区
鶴橋５丁目２１－１９

0120-051-415

EU
Evolution Power Tools Ltd
61 Avenue Lafontaine
33560
Carbon-Blanc
Bordeaux

+ 33 (0)5 57 30 61 89

Discover Evolution Power Tools

Visit: **www.evolutionpowertools.com** or download the QR Reader App on your smart phone and scan the QR code (Right).